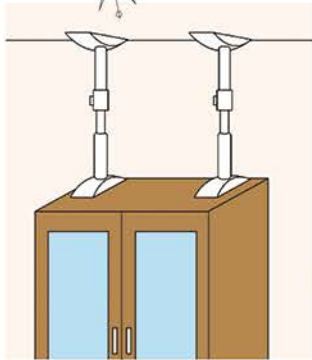


保存版



災害なんて来ないでほしい。
が、知っておこう!!

在宅避難が一番!! でも、万が一のときには避難所に!



耐震

在宅避難のこと
話し合ってみよう!



水・薬
オムツ 食料
トイレ 電気



etc.

四谷三丁目・四谷四丁目・荒木町・舟町・愛住町・片町
四谷ひろば避難所運営管理協議会

四谷ひろば 三団体自衛消防隊

※基本、危険がなければ、自宅・会社待機です。

「避難場所」

火災などから身を守るため、一時的に逃げ込む先。河川敷や大きい公園など、広いスペースが指定される。 ※新宿御苑・明治神宮外苑

「避難所」

災害のため自宅で過ごすことが困難になった時、一定の期間、避難生活をする場所。学校や公民館などが割り当てられる。 ※四谷ひろば

『四谷ひろば避難所運営管理協議会』は

旧四谷第四小学校 避難所地域町会 四谷三丁目・四谷四丁目・荒木町・舟町・愛住町・片町の6町会で運営がなされています。

『四谷ひろば三団体自衛消防隊』と地域との連携

四谷ひろばでは、地域ひろば・東京おもちゃ美術館・CCAA アートプラザ三団体で、自衛消防隊を結成しています。毎年、6月第四金曜日、12月第一月曜日に避難訓練を実施しています。この訓練では、おもちゃ美術館の職員が中心となり、災害発生時に、館内のご利用者の避難誘導・消火活動・けが人対応などを中心として行っています。団体ごとに、甲種防火管理者・防災管理者の資格を得ての消防計画も提出しています。

●四谷ひろばは、こんなところ

B館 四谷ひろば (地域ひろば)

子どもから大人までみんなが集えるひろばを目指しています。
地域で考え、地域でつくる 地域協働モデル事業としてスタート!

地域住民中心のボランティアなどにより、自主管理自主運営される「地域ひろば」では、「避難所機能」「選挙会場」「地域の各種イベント会場」としての役割を持ち、「主催事業」「サロン事業」「施設開放」事業を行っています。施設の管理や清掃等、日々の維持も住民の方と利用団体(優先団体)の協力を得て、成り立っています。



ひろびよん
©四谷ひろばキャラクター

委託

総合受付
災害時対応
窓口業務
閉館対応

三団体で、
協働しています!

朝の見回り
休館日窓口等

委託

A館 NPO



東京おもちゃ美術館

運営：認定NPO法人芸術と遊び創造協会

毎月第2水曜日に役員会を開催
三団体+四谷特別出張所と連携

四谷特別出張所
新宿区

A館 NPO



Committee of Citizen for Artistic Activities

CCAAアートプラザ

○大規模施設としての責任の取組み

「防火管理者」の配置と大規模用消防計画の策定
ゴミの再利用計画と年間の排出量と最終処分場の報告 ほか

○新宿区と協定等を締結しています。

五年ごとに更新をして、2028年3月末までの契約を結ぶことができました。

開館日(木曜日・年末年始除く)

四谷ひろば三団体自衛消防隊

- 年に二度(6月・12月避難訓練)
- 基本、利用者並びに職員対象に消火活動や避難誘導、応急救護



災害発生

・グラウンドで待機

順次、利用者を帰宅困難者施設へ案内、職員の帰宅体制を検討。

雨や夜間などは、講堂の確認をして、移動を検討。

- 地域の方が、避難してきた場合、避難所運営管理協議会が、立ち上がるまで、受入れを行う。
- 備蓄倉庫は開けずに、基本、食事は出さない。

日頃より、災害発生時や停電時、慌てないように、ソーラーの感知式電灯を各所に配置しています。他、館内マップや災害備蓄など独自で準備しています。



自転車置き場・ランプ坂等



カセットボンベで発電



地震等の災害が発生した場合、区の職員が救援にすぐに駆けつけてくれるわけではありません。発災直後の避難所は、避難所運営管理協議会の構成員を中心とした地域住民が避難所運営管理組織を立ち上げ、運営することを基本としています。また、運営管理に関する事項の決定及び避難者への指示等は、代表世話人、施設管理者、避難者の代表、区職員等で協議して決定しています。

現在、四谷特別出張所と6町会の役員・四谷ひろばが連携して、避難所の立ち上げについて、意見交換をしています。四谷ひろばは、「学校」を母体とする避難所ではないため、協働するNPOと共に、それぞれの役割と各団体ごとの利用者の避難も含めて、考えています。

1. 『震度5弱』… 大きな地震と感じた時…町会が持つ無線機の電源を入れる。
※現在、「四谷ひろば」の無線機番号に、6町会が普段から合わせることにした。
2. 情報を共有することで、四谷ひろばや町会の被害状況や動きを把握する。
※但し、町会の役員も家族のことや町会内の役割もあることから、現実には、すぐに駆けつけることはできない。その他、役員がケガをしたり、近くにいないこともある。
3. 四谷ひろばが開館している時には、三団体自衛消防隊が、利用者をグラウンドに誘導し、地域からの避難者の受入れも行うことになっている。
4. 余震が続いている間は、施設の倒壊の恐れもあり、外で待機する。
5. 揺れが落ち着き、周りの状況がわかると、避難所としての『受付』が始まる。

【受付】 講堂の中に、『受付』が作られる。※入口にはマスクやアルコールを設置
 受付では、避難所に住むために、**避難者受付カード**に記入をする。
 他に、避難者 / 在宅受給者対象に作成する**避難所登録カード**がある。

物品供給時等に使用する。

避難者受付カード		避難所名		受付番号
記入日	年 月 日 ()	記入者氏名		
住所		自治会・町内会名		
電話番号	() - () - ()	自宅の電話番号		
FAX	() - () - ()	自宅のFAX番号		
メール		自宅のメールアドレス		
その他		避難所希望する場所	<input type="checkbox"/> 避難所 <input type="checkbox"/> 避難所以外の施設(希望する場所) <input type="checkbox"/> 自宅 / 他()	
避難所を利用する人 (避難所以外の場所に滞在する人も記入) (氏名) (住所) (年齢) (性別) (年齢) (性別)				
1	西暦	西暦	性別	年齢
2	西暦	西暦	性別	年齢
3	西暦	西暦	性別	年齢
4	西暦	西暦	性別	年齢
5	西暦	西暦	性別	年齢
記入者	新宮 次郎	44年5月20日	男	西暦
ペットの状況 <input type="checkbox"/> 飼っていない <input type="checkbox"/> 飼っている (犬 猫 小動物)				

避難所登録カード	
避難者 / 在宅避難者	受付番号 家庭番号
受付日: 年 月 日	
避難者情報 氏名 性別 年齢 歳 住所 新宿区 電話番号 自宅: 携帯: 所属町内会 備考	
以下は、避難所運営管理組織が記入します(いずれかの番号に○、重複記載の目安にします。) 避難者区分 ①妊婦 ②乳幼児 ③高齢者 ④アレルギー等() 感染対策区分 A区分・B区分・C区分 避難所登録カードは、避難所内での名札の役割を果たします。 また、物資供給の際に必要なため、必ず持参してください。	

避難所開設に伴う課題とお願い

いつ起こるかわからない災害…に、「避難所を立ち上げる」**スタッフが駆けつけることができるかどうか**が、**一番の課題**だと、関係者で常に意見交換をしています。

普段から、具体的な災害時の取り組みや、立ち上げ方法などを、わかりやすく掲示したり、ホームページを活用して、**いざという時には避難者も立ち上げに関わる必要がある**ことを周知していきたいと考えています。

現在、多世代交流サロンに、



普段より、身近に感じるように、館内図などの配置

備蓄品の分類
どこに何が



災害時には用意できない
必要なものを準備中



備蓄倉庫



飲料用
受水槽



災害用
トイレ



応急給水栓

グラウンド門

在宅避難のススメ



- 小さなお子様をお持ちのご家庭
- 介護をされているご家庭
- ペットと生活されているご家庭など

避難所では、大変なことがたくさん想像できます。

大変な災害に見舞われたときに、ご自宅で過ごすことが出来れば、プライベートが守られ、不自由の中にも自由があったりと、避難者生活が少しでも和らぐことにつながることでしょう。

そのためには、日頃より、住まいのメンテナンスや家具の転倒防止などにも心がけて、家が無事であったときのために、電気のこと・トイレのこと・水のこと・食料のことなど日頃より、考えて準備しておくことが大事です。

災害時、家族同様のペットも、慣れない環境の中に、ほかのペットとの遭遇で、いつものように、おとなしくしてくれないかもしれません。ペットの苦手な人もいるでしょう。

小さいお子さんもストレスがたまって、助け合う中にも、気を遣うことがたくさんあることでしょう。

紙おむつやミルク・生理用品・持病のある方の薬なども、手に入りにくくなります。普段から、予備として、用意しておくで安心です。

個人個人が、『在宅で避難生活』ができることを目指しましょう！

火事が一番怖い！ 初期消火！… 消防車は、これないと思ひましょう。

普段、当たり前のように利用しているものが、利用できなくなる。

やらなくてもいいことをしなければならなくなる。そんな想像をしてみましょう。

トイレは、ビニールをかけて、溜める必要があります。

下水管や配管が壊れていることを想定したほうが良いでしょう。

マンションなどは、他の階の方の排水管に流れ込むことになります。

固めるための薬剤や、ペットシートなどで、水分を固めたりして、破れないように保存する必要があります。ゴミをベランダに出しておくと鳥などにつつかれて、破れることもあるそうですので、保存のことも検討しておく必要があります。ニオイや衛生管理の問題もあります。

とはいえ、避難所に来なければならない場合には、皆さんで一致団結して、過ごしやすい環境を少しでも見出していけるように、力を合わせて乗り越えましょう！！



新宿区の「在宅避難のための備え」紹介

●安全な場所の確保と家具類の転倒防止

近年の地震では、けがをした人の3～5割が屋内での家具類の転倒・落下が原因でした。地震時の在宅避難のためには、家具類の転倒防止対策などを行い、安全な場所を確保することが大切です。家具転倒防止器具の無料相談・取付け(器具代は有料)を行っています。
※詳しくは、以下のリンク先をご確認ください。

住宅用家具転倒防止器取り付け事業

http://www.city.shinjuku.lg.jp/anzen/kikikanri01_001018.html

●お住まいの地域の危険度の確認

台風・大雨に備えて、浸水が予想される区域や避難経路などを事前に確認することが大切です。

新宿区洪水ハザードマップ <https://www.city.shinjuku.lg.jp/anzen/htdocs/>

●最低3日分の備蓄

災害が発生すると物流が一時的に止まり、スーパーマーケットやコンビニエンスストアの商品もすぐになくなってしまふことが考えられます。自宅での生活が継続できるよう、水や食料を最低3日分(できれば1週間分)、ライフラインの停止に備えて簡易トイレやカセットコンロ等、そのほかご自身の事情に合わせて必要なものを検討し、日頃から備蓄しておきましょう。

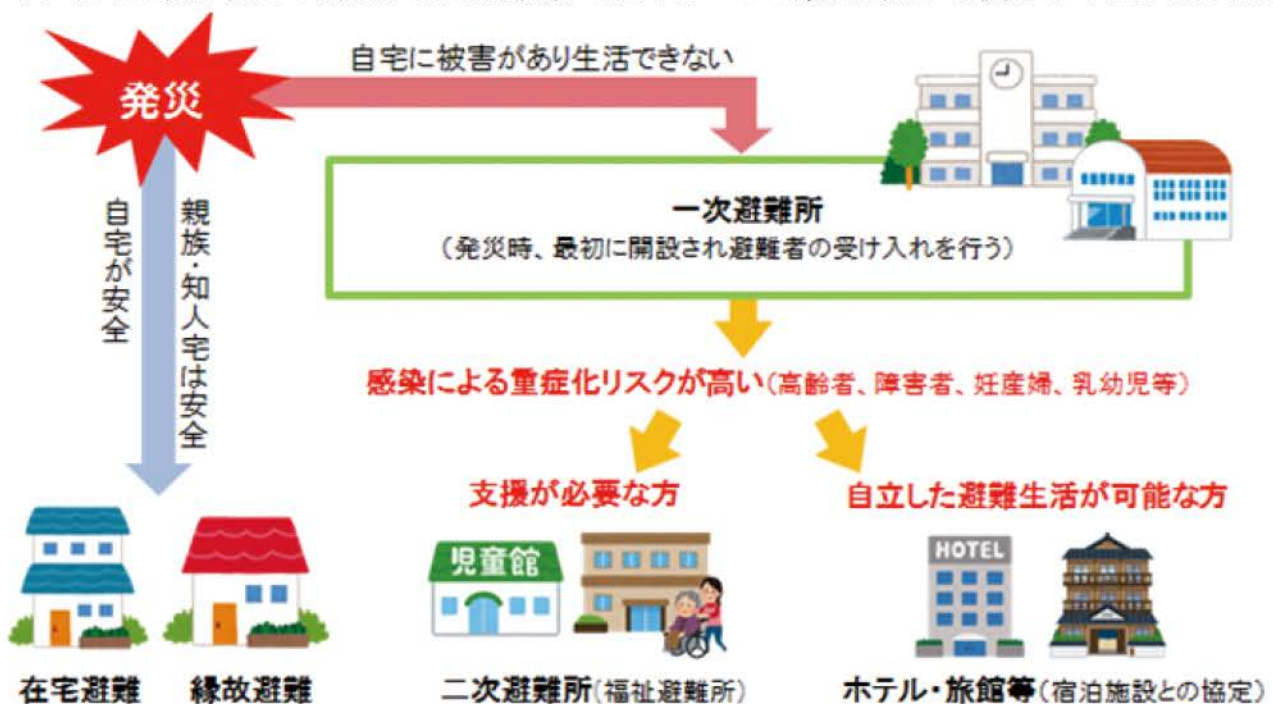
★感染症対策として、マスクやアルコール消毒液なども備蓄しておきましょう。

●建築物の耐震診断・補強

区民の生命と財産を守るため、建物の耐震化を促進することを目的として、建築物等耐震化支援事業を実施しています。

建築物等耐震化支援事業 https://www.city.shinjuku.lg.jp/anzen/index03_01.html

区では、災害時の『避難の分散化』を推進しています。避難所の密集回避のため、また、避難所で環境の変化などによって体調を崩さないために、可能な限り「在宅避難」をお勧めします。在宅避難が難しい方は、安全な親戚・知人宅への「縁故避難」も検討しておきましょう。



一時避難された皆さま 事業所の方々含む

四谷ひろば グラウンド（旧四谷第四小学校）新宿区四谷四丁目20番地には、

- ・四谷ひろば利用者（地域ひろば・CCAA アートプラザ・東京おもちゃ美術館）
- ・近隣の企業にお勤めの方ほか
- ・地域住民（愛住町・荒木町・片町・舟町・四谷三丁目・四谷四丁目）

など、大勢の方が避難してきます。

数時間は、余震のため、施設内には入らず、経過を観察することになります。
このときには、備蓄倉庫の扉を開けることはありません。

揺れが落ち着いてくるとともに、帰宅が始まります。但し、遠方から来ている方は、公共交通機関が止まり、帰るに帰れない方も出てきます。

- 事業所の方は**、会社に戻る または 帰宅困難者施設に移動します。
東京都の条例により、従業員の方の備蓄や一斉帰宅の抑制などが定められています。
- 四谷ひろば（地域ひろば・東京おもちゃ美術館・CCAA アートプラザ）の利用者も**、
帰宅困難者施設に移動を予定しています。

【帰宅困難者施設】

新宿区四谷区民センター ・ 新宿歴史博物館 ・ 新宿区男女共同参画推進センター ヴィズ新宿
（内藤町 87） （四谷三栄町 12-16） （荒木町 16）

対象町会の皆様で、自宅に戻れず、避難所に滞在を希望される方は、「四谷ひろば
避難所運営管理協議会」が立ち上げた『受付』にて、「避難者登録」をして下さい。

東京都防災アプリ「アプリダウンロード促進編」～ダウンロードしてご活用ください～
東京都防災アプリで何ができるのかをわかりやすく紹介しています。是非ご覧ください！



Android



iOS

マンション防災のリーフレットや、防災ブックのマンション防災関連ページを確認することができ、発災時の行動や防災の知識を学べます。リニューアルした防災ブックの内容を踏まえた、ジャンル別のクイズを出題します。様々なカテゴリーでクイズを楽しみながら、防災を学ぶことができます。アプリの利用により獲得できるポイントを使って、まちの防災力を高めていくあそびのコンテンツです。

日頃からの準備が大切なんです!!

発行 四谷ひろば避難所運営管理協議会
東京都新宿区内藤町 87
事務局 四谷特別出張所
電話 03 (3354) 6171
HP : <https://www.yotsuya-hiroba.jp/>



避難所ホームページ
見てね



ひろびよん

©2018 四谷ひろば